

子どもはお酒を 飲んではいけないの？

ひあかもか通信 第18号

いけないよ！



子どもはお酒を飲んではいけないよ！
子どものうちからお酒を飲むと成長して
いくなかで悪い^{えいぎょう}影響を受けるんだよ。
専門のお医者さんに聞いてみよう！
(うらをみてね)

ぼくたちの街、東大阪市では、
お酒のことで困っている人が少
くなるように、毎月たくさんの人
が集まって話し合っているよ。

その会議の名前は『ひあかもか』

ひがしおおさかし

アルコール

かんれん

もんだい

かいぎ

(東大阪市アルコール関連問題会議)

のことだよ。

くわしいことや、
お酒に関する相談先は

東保健センター

072-982-2603

中保健センター

072-965-6411

西保健センター

06-6788-0085



✿イラスト：岡本奈津子✿

事務局

東大阪市保健所 健康づくり課

2016.4

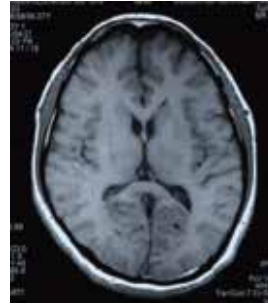


Q.どうして子どもは
お酒を飲んではいけないの？

A.子どもは身体をつくっている最中なので、悪い影響ばかりなんだよ。
脳が縮んでしまい、学習能力が低下するんだ。そのほかにも^{かんぞう}肝臓が悪くなったり、将来、赤ちゃんができなくなる可能性があるよ。



正常な脳



飲みすぎた脳



(写真提供：国立病院機構 久里浜医療センター)

飲みすぎた脳は全体に縮んで
すきま（黒い部分）が増えているよ



Q.お酒って毒なの？

A.子どもが飲むと毒だよ。
やめようと思ってもやめられないんだ。
それは麻薬と同じなんだよ。
そして下の体験談にあるような
アルコール依存症にもなり
やすくなるんだよ。



Q.でもお父さんがたまには少し
飲んでもいいと言っていたよ。

A.それが問題なんだ。お父さんは君たちが大人になったと思って嬉しいんだ。でもそれが君たちの将来の危険を高めることになる…。
お酒は20歳まで法律で禁止されているよ。法律ではお酒をすすめたお父さんにも罰則があるよ。



お酒の病気を治療している人のお話

お酒を初めて飲んだのは、小学6年生の頃でした。毎晩、食事の時に父からコップ1杯のビールをすすめられ、飲んでいました。父はお酒を飲みほす私の姿をみて、頼もしそうに見ていたので、^{おやこうこう}親孝行をしている気になっていました。お正月にも親せきからお酒をすすめられました。お酒を飲んで陽気になっている私の姿をみて、大人たちはほほ笑んでくれるので、うれしい気持ちになりました。子どもはタバコはだめだけど、お酒は少しくらいなら、かまわないという大人が多く、自分もお酒がたくさん飲めると、えらいと信じていました。このようにお酒を飲むことがあたり前の子ども時代でした。だから大人になっても、お酒を飲むことに抵抗はありませんでした。

そのうちお酒を飲まないと、自分の気持ちを伝えることができなくなり、ますます飲む量が増えていきました。それからごはんを食べることなく、お酒しか口にしない生活を続け、体重が10kg以上もやせてしまいました。仕事でもお酒を飲まないと手がふるえたり、めまいがするようになり、いつもお酒のにおいをさせていました。結局、私は会社をやめさせられてしまいました。そして、病院でアルコール依存症という病気の^{しんだん}診断を受けました。

今はアルコール依存症の治療をし、**断酒会**にかよい、仕事もして、お酒を飲まない生活を続けています。

東大阪断酒会 会員

～^{だんしゅかい}断酒会とは～

お酒の病気の人たちと家族が元気になるために集まって、いろんなお話をしてお酒をやめる会のことだよ。
仲間といればみんながずっと元気であることができるんだよ。